



故正三位勳三等男爵四條隆英

叙勳ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十一年一月四日

内閣總理大臣岡田啓介



内

閣

昭和十一年一月四日 内閣書記官長 外

内閣書記官

内閣總理大臣 外

賞勳局總裁



故正三位勲三等男爵四條隆英ハ明治三十七年七月農商務省ニ入り爾來數官ニ歷任シテ大正八年五月農商務省工務局長ニ進ミ次テ同十三年十二月農商務次官ニ累進シ農林、商工、兩省ニ分離ノ際商工次官ニ任セラレ昭和四年四月退官ニ至ル迄我邦産業行

賞勳局

政ノ樞機ニ參畫シテ之カ進展開發ニ努力シ就中工務局長在任中重要輸出品工業組合法、瓦斯事業法ノ制定、健康保險制度ノ創設、メートル法ノ制定、染料油脂工業確立ノ方策、中小企業組織ノ改善、研究機關ノ充實擴張等我邦工政ノ發達ニ盡瘁シ次官ニ陞任スルヤ部内産業行政ノ樞機ニ關與シ行政整理、農林商工、分離、日獨通商條約ノ締結、北樺太油炭

昭和十一年一月四日
賞勳局
第四號
商工 一

田開發事業、創設ニカヲ致シ商工會
議所法、制定、保險業監督行政、
刷新、輸出絹織物取締法、制定、日
支關稅問題、關稅定率法、改正等
幾多制度、刷新ニ盡カシ其、他各種
ノ委員又ハ議員トシテ克ク職責ヲ盡
シ退官直後安田保全社、理事トナリ
次テ安田生命保險株式會社、帝國製
麻株式會社、東京火災保險株式會
社、社長トナリ其、他幾多事業會社

ノ經營ニ膺リ能ク事業、健全ナル發
展ヲ計リ又近クハ貴族院議員トシテ
國政ニ參畫スル等功績顯著ノ者ニ
候處本月二日死去セル趣ニ付此、際
特ニ同日附ヲ以テ勲二等ニ敘シ旭日
重光章ヲ授ケラレ度此段允裁ヲ仰ク
追テ本件擬敘勲等ニ付テハ主務省
ト協議濟ニ有之候

商部第一

叙勲等授瑞寶章 故貴族院議員正三位勲三等男爵四條隆英
右者明治三十七年七月東京帝國大學法科大學子ヲ平
業シ直ニ農商務省ニ入り明治三十八年八月山林局
監督官ニ陞任セラレ爾來山林局事務官兼農商
務書記官、鑛山監督署事務官、農商務書記官
兼同參事官兼任農商務大臣秘書官、兼任臨時
博覽會事務官等ニ歷任シ其ノ間鑛山局鑛
政課長、大臣官房秘書課長、工務局工務課長工
場課長等ノ要職ヲ奉シ大正八年五月農商務省

商工省

工務局長ニ進ミ次テ大正十三年十二月農商務次官
ニ累進シ大正十四年四月農林、商工、兩省ニ分離
セララルヤ商工次官ニ任セラレ昭和四年四月退官ニ至
ル迄實ニ勤績二十有五年ノ久シキ我邦産業行
政ノ樞機ニ參劃シテ我邦産業ノ進展開發ニ
貢獻シタル功績洵ニ多大ナリ就中工務局長在任
中重要輸出品工業組合法、瓦斯事業法、制定健
康保險制度、創設、メートル法、制定、染料油
脂工業確立、方策、中小企業組織ノ改善發
達、研究機關ノ充實擴張等我邦工政ノ發達

(大塚勝)

ニ盡瘁シ次官ニ陞任スルヤ部内産業行政ノ
樞機ニ關與シ行政整理ニ際シテハ克ク其ノ實ヲ
擧ケ又農林、商工兩省分離、日獨通商條約就
中染料輸入ノ協定ニ努力我邦染料工業ノ確立
ニ資シ北樺太油炭田開發事業ノ創設ニ力ヲ
致シ商工會議所法ノ制定、保險業監督行政
ノ刷新、輸出絹織物取締法ノ制定、日支關稅
問題、關稅定率法ノ改正等幾多制度ノ刷新
ニ盡瘁シ其他製鐵鋼調查會委員トシテ我
邦製鐵鋼業ノ根本策樹立ニ寄與シ商工審

商 工 省

議會委員トシテ幾多重要ナル産業政策確立ニ
努ムルノ外幾多ノ調査會、委員會、審議會等ノ
委員又ハ議員ニ任命セラレテ克ク我國策ノ審
議ニ參劃シ職責ヲ盡ス等夕夕年我邦産業ノ
興隆發達ニ貢獻シタル功績洵ニ顯著ナルノミナラス
昭和四年四月退官スルヤ直ニ安田保善社ノ理事ト
ナリ安田系各種事業ヲ統轄シ次テ安田生命保險
株式會社、帝國製麻株式會社、東京火災保險
株式會社ノ社長トナリ其他幾多事業會社ノ經
營ニ膺リ克ク事業ノ健全ナル發展ヲ謀リ我

邦産業ノ發達ニ貢獻シ又近クハ貴族院議員ニ
互選セラレテ國政ニ參劃スル等功績益々顯著ナ
ルモノニ候處病革リ遽ニ本月二日死亡致候ニ
付テハ生前ノ功勞ヲ録セラレ特ニ頭書ノ通勲等
進叙ノ御詮議相成度此段稟請候也

昭和十一年一月三日

商工大臣 町田忠治



内閣總理大臣 岡田啓介 殿

商 工 省

昭和十一年一月三日

貴族院書記官長 世吉



内閣總理大臣岡田啓介殿

上申

故貴族院議員正三位勳三等男爵四條隆英
右者本月二日薨去致候處同男爵別紙復歴書
ノ通明治三十八年農商務省山林局監督官ニ任セラレテヨリ

貴族院

山林局事務官兼農商務書記官、鑛山監督局事務官、
農商務省参事官兼農商務大臣秘書官兼臨時博
覽會事務官、農商務省工務局長、農商務次官、高工
次官等ニ歴任シ其間帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト
七回昭和四年退官スルニ至ル迄在職二十有四年ノ久キ
ニ亘リ我國農商工業ノ發達ニ盡セルノ功勲カラザルニ
テラズ其官ヲ辭スルヤ群馬縣水電株式会社監査役、安田
生命保險株式会社取締役社長、帝國製麻株式
会社取締役社長、生保証券株式会社取締役、九州
電力株式会社取締役、日本工業俱樂部理事、財團

法人癩豫防協會理事、第一火災海上保險株式會社
取締役、倉石會社安田保善社理事等ニ就任シ實業
界ノ重鎮トシテ國富ノ増大ニ努力シ以テ今日ニ至レリ
昭和七年貴族院議員男爵議員補闕選舉ニ當
選シ引續キ當選スルコト一回議員在職日淺キニ拘ハラズ
其間豫算委員タルコト四回、兌換銀行券條例中
改正法律案外三件、不動産融資及損失補償法案
外一件、造幣局工場及其ノ附屬設備、新營費ニ関スル
法律案外七件、日本製鐵株式會社^法案外一件、輸出
組合法中改正法律案外一件等特ニ重要ナル法律案ノ

貴族院

特別委員ニ舉ケラレシ時ニ其ノ委員長或ハ副委員長
トナリ常ニ多年ノ經驗ノ卓越セル識見トシテ傾倒シテ
熱心且ツ慎重ニ審議檢討シテ克ク協賛ノ任ヲ竭セ
ルニミテ現ニ製鐵事業評價審査委員會委員
紀元二千六百年祝典準備委員會委員等ヲ仰付ケ
重要國策ノ樹立ニ貢獻セルノ功績實ニ顯著ナリト
確認致候ニ付此際特ニ位勲陞敘ノ恩典ニ浴セシメ
ラレル様御詮議相成度別紙履歷書相添此段
上申候也

追テ高工省ヨリ別ニ上申有之等ニ付為念申添候

履歴書用紙一甲

年 號	月 日	官 記 辭 令 及 其 他 事 故	官 公 署	位 階		功 學	本 籍	出 生 地	族 籍	
				位 階	功 學				族 籍	舊 氏 名
明治廿七年	七月十日	東京帝國大學法科大學卒業							東京府草津	二條支英
	七月十二日	任山林局書記兼山林局屬								
		五級俸下賜								
	十一月廿五日	文官高等試験合格								
	三月十八日	任農商務局 <small>兼山林局屬</small>								
		五級俸下賜								
		山林局勤務ヲ余トス								
	六月廿一日	大長官房秘書課兼務ヲ余トス								
明治三十八年	八月十六日	任山林局監督官								
		叙高等官七等								
		八級俸下賜								
		官制改正								
明治三十九年	三月四日	任山林局事務官兼農商務書記官								
		叙高等官七等								
		八級俸下賜								
		山林局勤務ヲ余トス								
		山林局庶務課長ヲ余トス								
	七月三日	七級俸下賜								
	十二月廿日	六級俸下賜								
明治四十年	四月一日	任叙高等官六等								
		五級俸下賜								

商 工 省

職歴書用紙 乙

〃		〃	四十二年	十月五日	官内山林局經理課長不在中代理を余す		〃
〃		〃		三月十七日	四級俸下賜		
〃		〃	四十一年	四月十一日	御用有三級末冬因へ被差遣		
〃		〃		三月廿八日	山林局庶務課長を免す		
〃		〃	四十三年	三月十二日	任鑛山監督勅賜有年務官		
〃		〃		四月二日	任三級俸下賜		
〃		〃		〃	任三級俸下賜		
〃		〃		五月十日	任鑛山監督勅賜有年務官		
〃		〃		〃	任三級俸下賜		
〃		〃	四十三年	四月一日	東山鑛山監督勅賜有年務官		
〃		〃		〃	任農務省農務官		
〃		〃	四十三年	十月廿日	任農務省農務官		
商 工 省							
〃		〃	四十三年	十月廿日	叙高等官五等		
〃		〃		〃	叙高等官五等		
〃		〃		〃	五級俸下賜		
〃		〃		〃	鑛山局総政課長を余す		
〃		〃		〃	四級俸下賜		
〃		〃	四十四年	八月一日	兼農務省勅賜有年務官		
〃		〃		三月廿六日	任三級俸下賜		
〃		〃		〃	任三級俸下賜		
〃		〃		十月四日	任三級俸下賜		
〃		〃		〃	叙正五位		
〃		〃	四十五年	三月一日	叙正五位		
〃		〃		〃	叙高等官四等		
〃		〃	大正元年	三月廿三日	叙高等官四等		
〃		〃		〃	叙高等官四等		
〃		〃		〃	二級俸下賜		
〃		〃		〃	大官官務課課長を余す		
〃		〃		〃	鑛山局総政課長を免す		

〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
			十一年				十年			九年				九年									
十二月五日	七月廿六日	五月廿四日	三月廿四日	十二月十日	十二月十日	九月十日	八月三日	十一月一日	三月廿四日	一月十三日	十二月五日	六月三十日	二月廿三日	一月三十日	十二月廿四日	十月十二日	十月七日	七月廿九日	七月廿九日	六月十七日	六月廿五日	五月廿二日	
中央衛生會委員被免	勲三等瑞寶章	陞勲高等官一等	勲正四位		農商務省官制被廢			授旭日小綬章	農商務省官制被廢	農商務省官制被廢								勲五等瑞寶章				勲高等官二等	
内閣	勲賞	内閣	官内省	〃	〃	〃	内閣	勲賞	内閣	内閣	内閣	内閣	内閣	内閣	内閣	内閣	内閣	勲賞	勲賞	勲賞	勲賞	勲賞	勲賞

履歴書用紙 乙

履歴書用紙乙

ク	十四年	二月十四日	中央職業紹介委員会委員被免	内閣
ク		二月廿七日	不當審査委員委員被仰付	ク
ク	十四年	三月二十日	任高工次官	内閣
ク		四月一日	叙高等官一等	内閣
ク		ク	普通試験委員長に命下す	高工省
ク		ク	文部省普通懲戒委員長に命下す	ク
ク		四月十日	中央統計委員会委員被仰付	内閣
ク		ク	文部省懲戒委員会委員被仰付	内閣
ク		ク	特別に擬任延期局長官に命下す	高工省
ク		ク	工業省所有権専用免許調査委員に命下す	ク
ク		四月廿三日	特別に擬任市計委員に命下す被仰付	内閣
ク		四月廿九日	工業省短務総一調査委員会委員長被仰付	ク
ク	十四年	五月五日	行政調査委員会委員被仰付	内閣
ク		五月十三日	国有財産調査委員会委員被仰付	ク
ク		五月十九日	関税立上調査委員会委員被仰付	大務省
ク		十月廿三日	中央審官修達系準備委員会委員被仰付	内閣
ク		ク	被仰付	内閣
ク		十二月三日	文政審議委員会委員被仰付	ク
ク		十二月十六日	鉄道令改正委員被仰付	ク
ク		十二月廿日	瓦断事業委員会委員被仰付	ク
ク	十五年	五月十四日	関税立上調査委員会委員被仰付	内閣
ク		五月十七日	関税調査委員会委員被仰付	ク
ク		五月廿九日	損害賠償調査委員会委員被仰付	高工省
ク		六月十日	不當審査委員委員被仰付	内閣
ク		六月十一日	国有財産調査委員会委員被仰付	内閣

商工省

昭和二十五年 七月一日	文部高等学務課或添備委員被仰付	内 政
昭和二十五年 七月十三日	金杯奉給ノ賜フ	内 政
昭和二十五年 七月十九日	内閣勸告委員候任立全運用委員会委員 員政仰付	内 閣
昭和二十五年 八月廿七日	補償委員会委員会委員被仰付	内 閣
昭和二十五年 九月一日	總務委員会委員会委員被仰付	高 工 省
昭和二十五年 九月廿八日	金融機関委員会委員被仰付	大 蔵 省
昭和二十五年 十月十一日	九州製糖株式會社工場買収評價委員 会委員	高 工 省
昭和二十五年 四月十五日	日 委員被仰付	高 工 省
昭和二十五年 四月十五日	叙從三位	高 工 省
昭和二十五年 五月廿四日	高工小委員会委員被仰付	内 閣
昭和二十五年 六月二日	农林委員会委員被仰付	農 林 省
昭和二十五年 六月十日	肥料委員会委員被仰付	農 林 省
昭和二十五年 六月十五日	行政委員会委員被仰付	内 閣
昭和二十五年 七月七日	人口委員会委員被仰付	内 閣
昭和二十五年 七月九日	資源委員会委員被仰付	内 閣
昭和二十五年 九月十三日	文部高等学務課委員被仰付	"
昭和二十五年 十月五日	生原保護課課長被仰付	"
昭和二十五年 十月廿七日	委員会委員被仰付 (二三連)	高 工 省
昭和二十五年 十月廿七日	大體使 委員被仰付	内 閣
昭和二十五年 六月十二日	評全郵資金運用委員会臨時委員被仰付	高 工 省
昭和二十五年 十月廿九日	大體行幸供奉被仰付	内 閣
昭和二十五年 十月廿九日	金杯奉給ノ賜フ (大體使委員)	"

昭和九年	十月十六日	昭肥料株式會社取締役就任	内
昭和九年	十月十九日	日本曹達工業株式會社取締役就任	内
昭和九年	四月十四日	熊本電氣株式會社取締役就任	内
昭和九年	十月七日	生保證券株式會社取締役就任	内
昭和九年	四月十日	保善高上教育財團理事長就任	内
昭和七年	七月十日	貴族院議員(二再選)セラル	内
昭和七年	七月十日	貴族院議員(二再選)セラル	内
昭和七年	七月十日	授旭日中綬章	内
昭和六年乃至九年		事件ノ功	内

商 工 省